

TNR検証アンケート結果について

1.目的

平成29年度に協議会が野良猫の繁殖制限事業で支援した団体（個人）について、アンケート調査を実施し、TNRの検証を行う。

2.調査期間

平成30年4月～6月

3. 調査・回答状況

調査数：204 回答数：163 回答率80%

4.調査結果

問1 未手術の猫の有無	回答数	比率	
あり	93	57.1%	TNRを実施したことで、未手術の猫がいなくなったとの回答が約39%あり、一定の評価ができるものの、未手術の猫がいるとした回答が約57%あり、TNR事業を継続的に取り組む必要性が示唆された。
なし	63	38.7%	
未回答	7	4.3%	
総計	163	100.0%	

問2 猫の数は最初の申請時から	回答数	比率	
増えた	35	21.5%	TNRを実施したことにより、猫が減ったとの回答が約41%ある一方、増えたが約22%、変わらないが約23%あり、問1同様、TNR事業を継続的に取り組む必要性が示唆された。
減った	67	41.1%	
わからない	14	8.6%	
変わらない	38	23.3%	
未回答	9	5.5%	
総計	163	100.0%	

問3 猫の状況について	件数	比率	
死亡猫あり	60	36.8%	活動エリア内の猫の減少要素である死亡、行方不明がそれぞれ40%弱あるものの、増要素である他からの侵入が約40%、誕生が約13%あり、対策区域周辺への取組や取りこぼしのないようTNRの徹底の必要性が示唆された。また、活動地域内の猫の個体管理の重要性も示唆された。
行方不明猫あり	62	38.0%	
他からの侵入あり	66	40.4%	
誕生	22	13.4%	

問4 TNRを行って良くなったことは？	件数	比率	
猫が減った	73	44.7%	猫が減ったが約45%、地域の理解が得られたが約44%など一定の評価があるものの、これらの割合を増加していくためには、TNRの継続的な実施と、猫の適正管理の推進の必要性が示唆された。
地域住民の理解が得られるようになった	72	44.1%	

問5 困ったことは？	件数	比率	
捕獲がうまくいかない	43	26.3%	捕獲がうまくいかないが約26%、捨て猫、餌やりが増えたが約14%など事業を実施する上での課題も見えてきた。今後、捕獲の支援やこれらの課題を解決するために行政等関係機関との連携を密にした対策の必要性が示唆された。
捨て猫、エサやりが増えた	23	14.1%	

Q4.TNRを行って良くなったことは？

必要以上に猫が増えることがなくなったので良かった。

子猫を保護する回数が減った。

糞の被害が減ったことで地域住民が猫に対しておおらかになった。

猫に愛情が湧き、現れると家族が帰ってきたようで嬉しい。手術をしているので安心してエサやりができる。

猫が増えていない。条例ができて、近隣住民に説明しやすくなった。

虐待が無くなった。最初60匹のところ、約5年で8匹まで減った。

手術をすると増える心配が無くなったので安心。

慣れた猫にワクチン・ノミ薬をつけ、近所に説明しています。以前より猫のいじめが減ったように思います。

20年TNRを行ってきて、市住管理会社の方からも認めてもらっている。掃除・犬の糞も拾っている。苦情を言う人も減った。

オス同士の喧嘩、鳴き声が無くなった。近隣の方も手術して良かったと言ってくれた。

不幸な猫を少しでも減らせる。

耳カットを見て手術をしてると地域住民の方に言われるようになりました。

猫達もエサをもらうことで懐くようになり、可愛がったり興味を持たれる方がいる。

近隣の理解も不妊去勢手術を受けたことで多少とも得られたように感じます。

地元地域内から喜びの声を頂く。H28頃まで子猫が頻繁に生まれていたもので、TNRして現状維持できているが他からの侵入で少し増えてきています。

猫を虐待する人が少なくなった。

市の取り組みを話して理解してもらっている。

繁殖期の猫のケンカ等鳴き声がしなくなった。

空家の野良猫に手術ができたので子猫が減ってよかった。

住民の方の理解が得られ、大変住みやすくなったと聞いている。

エサやりさんとコミュニケーションがとれるようになった。ボランティアの方たちに協力してもらい、助かった。

子猫が減ったので良かった。

近所のつながりが密になり、猫を中心に話す機会が増えた。猫はとても可愛がられており、エサも3軒でもらい人気者になっている。本当にTNRを

行って良かったと思います。ありがとうございました。

猫の捕獲を通じて地域で協力してくれる人が増えた。

一時から比べれば減っている。住民の6割程度からは理解されていると思う。

理解はしてくれるようになり、協力してくれる人が増えた。

目的としていた猫全てにTNRが行えた。

発情期の鳴き声が減ったと地域の方々からの感謝の声があります。

この制度があることで、子猫を引き取ってもらえることもある。だいぶ多くの人の知るところとなって世話人の立場が楽になってきている。

増えるのを防ぐことができた。

子猫が増えないことがよかった。

TNR後に安心してエサをあげられるようになった。

赤ちゃんが生まれなくなり、育児放棄されて亡くなる子猫が減ったのがよかった。

安心して猫を見ることができた。

猫の虐殺が減った。

苦情が少なくなった。

猫が増えなくなった。子猫はボランティアの方に引き取ってもらった。

地域住民の理解が深まる。TNRを知らずに猫のエサやりだけ咎める老人に新しい知識を伝えることができる。

近所の方にお礼を言われた。糞尿やマーキングのにおい、発情の声が手術によって抑えられた。労いの声をもらったりクレームもなくなった。

地域からエサやり（掃除をすること）を認めてもらえた。

糞尿や鳴き声が少なくなった。無責任なエサやりをする人が減った。

ケンカが減った。子猫は生まれていない。

猫の鳴き声が聞こえなくなったとか、さくら猫にご飯をあげてくれる人が増えた。

子猫を見かけなくなった。夜中の激しい鳴き声や、ケンカの声がなくなり安心。

手術をするようになってから文句を言われることが少なくなった。

以前ほど文句を言われなくなった。猫達の隠れる場所が段々無くなってきている。

エサやりさんのマナーがよくなり、知識もついてきた。ニオイがましになった。地域住民に捕獲作業の様子を見てもらい、理解が得られる。

発情期の声が無くなった。

TNR中に何人かの住民と話す機会があり、主旨の説明をして理解してもらった。

狭い範囲で雌猫がたくさんいてほとんど妊娠していたのでTNRできてよかった。

初めとは比べ物にならないくらい近隣の方々の理解・協力を得られるようになった。

市の方針、地域猫の育成に賛同する何人かの地域の人々と知り合いになった。猫の小屋をつぶしたりエサ皿を隠したり等の嫌がらせをする人がいたが取り組みを伝えたら嫌がらせがストップした。

子猫が増えることもなくなり、人に慣れた猫を譲渡会に出すこともできた。

少しずつ地域住民の理解を得られるようになった。

地域へ話し合いやビラ配布をしているが、興味のあるなしで猫へ対する反応が真っ二つ。声をかけてくださる方が増え、うれしい。

8年ほどの努力により、地域猫に対する理解が増えてきた。

住民の生活区域と離れた公園という特殊性もあり、苦情はあまり聞きません。エサのプラスチック等のごみ問題はある。猫の匹数はほぼ一定。

今の時期、子猫がちょろちょろするので目立ちますがここではいつものことなんです。

子猫の数が非常に減った。我々の色々な努力を知った人々に励まされた。

虐待が無くなった。子猫を産ますことが無くなった。嫌いな人、関心がない人にも減ってる気づいてもらえるようになった。条例、地域猫活動を知ってもらえるようになった。

子猫が増えなくなった。

鳴き声が減った。猫が減った理由を説明するとわかってもらえる。

地域とのつながりができた。（自治会）

マナーの悪いエサやりがなくなった。（注意した）

猫が増えなくなった。苦情が減った。

猫のケンカが減ったので鳴き声、病気の感染が無くなった。子猫が増えないので安心。

猫が増えなくなった。鳴き声、ケンカが減り苦情も減った。においが減った。

子猫が生まれなくなった。苦情が無くなった。

猫同士のケンカが無くなった。（オス同士）

猫を通じて近所付き合いが増えた。不妊手術が無料になったので周辺住人の協力を得やすくなった。（自費で行っていた時は費用面で相手に気を使わせてしまったため。）

以前に比べて苦情等落ち着いてきた感じ。忘れたころにたまに苦情がある。手伝ってくれる人も出てきた。

猫の増えが減った。以前は1匹が12匹になった。

活動中に地域住民に声をかけてもらえるようになった。子猫の姿を見なくなった。不妊手術が済んだことで、猫が地域にいることを受け入れてもらっている気がする。

地域内では増えていない。他から来てしまった。

メスを手術したことでオスが他の場所に行ってしまった。子猫を見なくなった。不妊手術済で近隣住民が数が増えないのでよかった、と世話してくれるようになった。

自分の家の周辺は見かけなくなった。

TNR後は子猫の姿を見なくなった。

3,4年前よりは減った。学校内部で猫の糞問題があり、それ以来学校に申し出て毎朝糞掃除に行っている。

終わりが見えてきた感じ。新しい猫がいつ来るか心配。

手術できていなかった雄ネコ3匹がどちらかの自治会で手術され戻ってきた。盛りの時期でも静かになった。

今のところおかげさまで猫たちは幸せに暮らしております。ありがとうございました。

〇〇町5〜9丁目付近ずいぶん子猫が大変減りました。

腕章があると話がしやすい。ペットクラブで月1回自治会で話す場がある。公園の管理をしている人と協調している。

長い目で見ると、猫が減った。ボランティア仲間が増えた。

捨て猫等の通報が会に来るようになった。条例ができて、金銭面でメリットが大きい。

地域のマナーが良くなった。

農村地域と住宅地とで意識が違うことに気づいた。

条例ができて金銭面でのメリットが大きい。

(まとめ)

TNRを行ってよかったことに対する個別の回答が88件あり、その多くは、猫の減少、苦情の減少、地域住民の理解が得られるようになったなどであった。地域猫活動については、地域住民の理解が重要であり、地域住民の理解が得られたという回答は、本事業の成果の一つと考えられる。

Q5.困ったことは？協議会への意見・要望

捕獲に一度失敗すると警戒してしまい、ボランティアさんの手を借りることになりお金がかかってしまった。

捕獲するのがなかなか難しい。次から次と増えていく。

飼い猫を手術せず子猫を捨てる人がいる。飼い猫の手術の補助をお願いします。

他からも野良猫が寄ってきて住み着いている。年がいつているのでエサをやっているが手術をしていない。メスのように思える。

ボランティアのメンバーが高齢化しており、エサやりの継続に不安。捕獲にかかる費用（タクシー代）費用がかさむ。捕獲が難しい猫がいる。

エサやりに反対する住民がおり、TNR・エサやりの実施に苦慮を要する。

市営住宅が取り壊しとなり、次の住居に連れていけないからと、7匹未手術の猫が捨てられた。（譲渡会・里親に出した）

猫が増えている。できる範囲で近所の迷惑にならないよう世話をしている。

エサやりしている猫が自宅庭に住み着いているが、トイレを自宅庭の用意してある場所ではなく、近所の庭等でしているようだ。取れるところは取りに行っているがとても気になるところではある。

自分が世話をしている猫はTNR済だが、近隣の〇〇さんが猫を繁殖させ、エサやりを止めてしまったのでその子猫が移動してきて困っている。

もう少し手続きが簡易にできて、地域住民の方への告知と広報活動を「神戸市」の名の下で浸透していただけると助かります。

いつのまにかどこからかまた猫が現れ子猫を産んでいる。見えないところで猫が増え続けるのでつらい。

近くでコミュニティ畑をされている方々が畑に猫が来て糞尿をされて困ると言っている。そのエリアでは猫が増えたとのこと。

自分たちの地域外からの圧力などがあり、活動拠点場所以外の周辺の他の地域では捕獲活動したくない、との意見がある。猫の行動範囲もあるので、自分たちの地域外へ拡大していきたいと思う。

団地はほかの地域から子猫を捨てに来る場所になっている。

少し離れた地域に空家が多いので子猫を産んで増えている。エサだけあげて手術をしない人が多く困っている。

犬の散歩の人のマナーが悪く、猫の糞と一緒に犬の糞も片付けている。GWや年末年始の長期休暇の後必ず猫が増える。置き去りにされた飼い猫だと思ふ。

〇〇住宅の人が引っ越して猫を置いていく。

少しずつ理解を得られるようになったが猫をいじめる人がいる。〇〇の方は夜中に猫とりが行われているようだ。捨て猫もある。

〇〇区〇〇駅近くは4軒に1軒が空家で野良猫が住んでいる状態です。

最近仔猫が捨てられ、困った。

手続きをもっと簡単にしないとTNRをしたくてもやらない選択肢も出てくる。TNR後の猫の管理方法に問題がある。台帳を作る必要がある。

地域住民に捕獲をしていいかどうか確認する必要がある。（命がどうなるか気にされる）手術当日に返すのではなく、2~3日入院させてくれる〇〇を自費で利用

TNRしても別の猫が入ってくるので継続的にTNRし続ける必要があり、捕獲に時間がかかる猫もいるので後から手術費用を請求できるようにしてほしい。

東京都の助成制度を利用している。自治会や地域とのもめごとは避けたいので、地域との交渉は市が行えばいいと思う。エサを堂々と与えられる場所を作ってほしい。

隣町とまたいで猫が生活しているため、町単位で一斉にTNRしたい。TNR作業に人手が足りない。保護猫の行き場に困る。野良猫を嫌う人たちがTNRのことを知らない。

上手に一定の場所で糞をさせることができない。他の家に迷惑をかけていないか不安。負傷した猫を捕獲できず病院に連れていけなかった。

近くの公園にてエサやりが増えた。

猫の数は一時減ったがまた増えてきた。全体の正確な猫の数は把握できない。

他地区からエサを与えに来られ、糞尿による不衛生が住民の不満の原因になっている。エサを与えているが後のフォローが無いので住民の理解が得られない。

猫が安心してエサを食べたり生活する場所を提供して下さる支援者を増やせるように国や市が働きかけてほしい。

今後数が減ることを期待しているが、他からの侵入も目立つ。たまにしか見かけない猫は捕獲が困難。メス猫に〇〇（2週間効く抗生剤）

を無料で打てるようにしてほしい。

他のエリアから新たに猫が侵入してくる。年間予算を増やし徹底してTNRを実施してほしい。

空家が増え、猫が住み着いている。

エサを与えていてもゴミ袋を破って散らかすので掃除をしている。トイレは別の場所で行っている様なので、手術はしたもののエサを与えるだけで無責任の感があり今後もこれでいいのかと思う。

自分の体調が優れないときにエサやりできないので心配。

極力殺処分をしない様努力してください。

なかなか捕まらない猫がいる。その後行方不明。何年もそこでエサやりをしていた人（面識なし）が突然やめてしまい、困っています。野良猫のTNR事業を継続していただきたい。未手術のオスメス一対がいるだけでネズミ算式に増え、捨て猫や野良猫を保護しているボランティアも崩壊寸前。

飼い猫の避妊手術の啓蒙、捨て猫が犯罪であることの周知とセットで事業が必要。

予算の上限の関係で優先順位ができるのは仕方ないが、団体登録しなければ申し込めないとなることに問題を感じている。

車で飼い猫を捨てていると聞く。猫増えているし、無理解の方が多い。

期間に関係なく管理票を使いたい。自身がエサやりをしていないのでわからないことが多い。

捕獲は始めはうまくいくが、少なくなると難しくなる。

警戒心の強い猫はいつまでも捕獲できない。よそから来ていつの間にか猫が増えている。町内広い範囲で見ると数えられないほど猫がいる。仕事・家事の為、夜しか行動できず、状況を調査したり個人で活動するのは難しい。

近隣の庭で猫達が迷惑をかけていると思う。餌場は自宅の土地だが少し気が引ける。

きちんとエサやりできる人とそうでない人の差があり、できていないの方に苦情が集まっている。なかなか捕獲できない猫がおり、子猫を産むので、子猫の保護、譲渡に関する費用を助成してほしい。

よそから来てエサをやる人が増えた。

置き水を毎日取り換える時水の中に石を入れられ、嫌がらせをされる。

TNR後いくらたっても野良猫が減らないと言われるのでつらい。糞は掃除するが尿はどうしようもない。地域猫活動を野良猫嫌いの人たちに説明して猫が減ることを長い目で見守ってもらえるようもっと大々的に知らせてほしい。

妊娠猫が来たとき等は期間が決められていたり待たされたりするのですぐに手術できない。

近隣は猫が嫌いな人が多く、クレゾールをまかれる。捕獲器を置かせてくれないし、子猫を追い出してしまう等協力的でない。

地域の人が野良猫の世話をしてくれない。ゴミの日にゴミ袋を破る。年金生活者なのでエサ代の余裕がない。

エサをあげていると苦情をもらう。

近隣の〇〇住宅（4丁目）に捨て猫があり、移動してくる。（〇〇町で〇〇婦人会の了解を得て団体登録した）

猫は流れてくるので増えるし未手術の猫が仔猫を産み、生まれた子が未手術のまま大きくなっている。

エサやりさんが2人から1人になり、痩せた猫が多い。

猫を嫌う人は何をしても理解は得られない様です。野良猫や街中の猫の生き方は大変、TNRも必要だ。手術をした責任でエサはあげたい。トイレも増やして用意している。

捨て猫がいる。他で産んだ猫が子猫を連れてくる。捕獲器に入らない。お年寄りにTNRはかわいそう、と言われる。

住民にエサやりについて苦情を言われる。新しい猫がやってきて猫がゼロにならない。TNRの説明をしても野良猫の存在自体を嫌がる人が多いのでシェルターがあればと思う。自宅庭でエサやりをする方で去勢避妊させない方もおり、突き止めてお願いするのも難しい。

さくら猫が増えたので捕獲に時間がかかる。公園に猫を捨てに来る人がいる。

よそからのエサやりさんが増え、後片付けせずやりっぱなし。せっかくTNRを行ってある程度猫も増えないという理解も得てきているのに、努力が無駄になりそうな行動が残念。

管理票の期間が短く捕獲がうまくいかず取り損ねる。期限を2~3か月にしてほしい。

TNRについて外国語の紹介文が欲しい。とりこぼしや他地域からの侵入があり、100%手術は難しい。早く管理票が欲しい。自治会の同意が得られず、団体登録に時間がかかっている。

夜のTNR、猫を見つけにくい。エサだけ置いて片付けない不特定多数のエサやりがいる。片付けるエサやりさんでも不妊手術まではしてもらえない。狙った場所でうまくTNRできない。マナーの悪いエサやりのせいで「エサやるな」の貼り紙が多く、そういう人たちとひとくりにされているのでTNRの必要性和正しいエサやりマナーについて役所、行政からの啓蒙が必要。

仕事をしながら活動しており、天候や子猫を育てている母猫を捕獲する時期等で管理票の期限が1か月だとうまく使いこなせないのが猶予が欲しい。

〇〇を自費で利用している。周辺にも猫がいるとの情報が入り、その周辺からの移動猫が多い。

捕獲がうまくいかない猫がいる。猫が嫌いな近所のご老人への説明。公園での活動に対するルール。猫の管理票の期限を3か月に延ばしてほしい。

助成券の有効期間を1年にしてほしい。保護団体ごとに1年間の枚数を交付してほしい。

捕獲できない猫がいる。迷い猫や、子猫を捨てに来る人がある。保護し、病気を治して譲渡に成功した。

券の有効期間を2か月に延ばしてほしい。

〇〇公園は長期にわたってTNRを行っていますので、猫が賢くなっています。さくら猫はカゴに入っても逃がしてくれるのも学習しています。

子猫を箱に入れて捨てられた、というのは最近聞いていません。エサやりさんはここでは必然です。高齢者なので定期的に来る人は減るはず。

トイレ設置をしている他のボランティアで悪臭対策をしてうまくいっているところがあれば教えてほしい。

野良猫を減らすには地域の方の協力が必要。残念ながら糞の問題や敷地に勝手に入ることでお隣に迷惑をかけており、堂々とお世話できない。

野良猫に責任はなく、子供たちにも生き物、生命というものを自然に身近に感じてもらえたらと思う。

近所付き合いが悪くなるのが心配。猫嫌いの人がある。申し込みが10月→管理票が1月。遅かったので1匹自費でやった。

相変わらず捨て猫が発見された。それらがエサを横取りするのをやむを得ず無視。

家猫かどうかわからないのが一匹います。

公的に市が許可してエサをやる場所が欲しい。各行政部署によって言うことが違うので（特にエサやり）一貫した方針を決めてほしい。緊急時に管理票を出してほしい。地域猫活動のエサやりに対する助成が欲しい。近隣から未手術の猫が来るので地域猫活動の必要性を指導することが必要。引越し及び飼い主死亡による置き去りが増えているので終生飼育・責任ある飼い方を徹底することが必要。地域猫活動（活動の普及及びエサやりの大切さを認識してもらいこれ以上増やさないことがTNRの終わりにつながる）各自治会に条例・地域猫活動の必要性を知ってもらい、現実を認識して地域のことは地域で対処するように市から伝えてもらいたい。エサやりにも責任があること、活動側が掃除や手術するからと無責任なことをせず活動側に協力や負担をかけないように掘り下げてアピールしてほしい。

他の地域からエサをやりに来て片付けない人がある。

把握できない猫がいるようだ。管理票の交付と捕獲のタイミングが合わず困る。結局自費での手術になる。捕獲日に手術できるとは限らないし、

使いたいときに使えて、譲渡する猫にも使える管理票が欲しい。

地域の承諾書、賛同得られない。〇〇に捕獲を依頼した場合捕まらなかった時の負担が大きい。

〇〇・住宅街では見つけたらすぐに捕獲するので管理票が使えない。倉庫街では使用した。せめて2か月の有効期間がほしい。

無理解な近隣住民からのいわれなき批判を受ける。無責任なエサやりをしに地域外からやってくる人がいてどうにもならない。

人が足りない。団体登録の手続きが煩雑。

サポートがないときに運搬が大変だった。

メンバーを増やすのが難しい。

有効期間が短く、捕まらない。最低2か月欲しい。他の地域から来る人がエサやりをしている。

日数の制限、動物病院の制限。飼い猫でトラブルになった病院を指定され、連れていきたくなかった。周知していない地域の猫（飼い猫）を手術管理票の使用期間が短く捕獲がうまくいかず手術できない。以前の助成券が使いやすい。

指定された病院の都合に合わせるのが大変。

保護施設を建設するべき。

捕獲器の貸出が無料だとありがたい。

助成券の期限が短いのが大変。

捕獲がうまくいかず期限内に捕獲できない。

思った以上に野良猫がいたことに驚いた。

周辺地域に猫が多い為活動地域にどんどん入ってくる。

手術をした際に亡くなってしまった。野良猫の手術経験があまりない病院は外してほしい。遠すぎる病院は連れていけないので困る。

地域猫の医療費負担が重い。共生というなら共存している間は命の責任を持つべき。神戸市でひとつでも地域猫を無料で診察治療できる施設があれば良い。

エサやりさんに食べ残しを持ち帰るように言っている。子猫を保護し、飼い主を探している。

毎日のエサやりが負担。直接の苦情はないが、妨害や猫いじめがある。新しい猫が来て手術券がすぐもらえるのか不安。

捕獲の時間が取れない時に協力先がほしい。地域猫の手術、申請、手続きに時間がかかり、手術指定病院が限定され期間も短く困った。

1か月の縛りは短く、雨天等あるとすぐに終わる。以前のように6か月とは言わないがもう少し長い期間が必要。条例ができたことが非常に良かった。

他地域からの流入がある。

〇〇獣医師が理解があってよい。1か月はスパンが短いので長くしてほしい。

1か月より長い期間で使えるようにしてほしい。匹数は比較的安定していると思う。

フェリシモなどの譲渡会情報をどんどん出してほしい。自治会への啓発を市がすべき。飼い猫の適正飼養の啓発を進めるべき。

以前のような6か月スパンで、券を使えるようになるとありがたい。

1 か月はタイトなので6か月とか期間があるといい。時々捨て猫の話を聞くが、仲間らに頼んで飼い猫として引き取っている。

エサやりの跡は見かけるものの、誰がエサやりしているのかわからない。他地域からの流入、捨て猫、出産で増えた。子猫をかなり保護している。

（活動範囲に接する）自治会への呼びかけをしてほしい。

手術期間がもう少し長いといい。

手術期間がもう少し長いといい。条例で費用を出してもらえるようになったのはありがたい。

1か月という期間について、特段の意見（短い）との意見無し。猫の手術の費用負担がないのは非常にありがたい。

エサをやってるだけの人に飼い方の徹底を呼び掛けないといけないと思う。人に微妙に慣れている猫がなかなか捕まらない。

TNRが行き過ぎて野良猫がいなくなると寂しい。

（まとめ）

協議会への意見・要望は、個別の回答が全部で108件あり、そのうち困ったことは74件、意見・要望は38件（重複あり）あった。

困ったことでは、捨て猫、無責任な餌やり、地域住民の無理解、困難な捕獲などが多くあった。Q4で、地域住民の理解が得られたという回答が多くあった一方、まだまだ地域の理解が得られていない対策区域もあり、今後の課題と考えられる。捨て猫や無責任な餌やりについては、行政や関係団体と連携しながら今後も啓発していく必要がある。

意見・要望では、管理票のTNR期間が短い（現在1月間）という意見が多かった。TNR期間については、平成29年度当初は2週間としていたが、年度途中から1月間に延長している。捕獲できなかった分については、再発行（通常翌々月）していることから当面現行の扱いとしたい。

地域猫活動団体登録の有無にかかわらず、優先度は別として支援が必要と判断した地域には繁殖制限事業を行っている。